

# 深社協だより



## 新年のあいさつ

社会福祉法人 深浦町社会福祉協議会

会長 新岡 重治

新年あけまして、おめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

常日頃、本会の事業推進につきまして、格別のご支援ご協力をいただいていることに対し、厚くお礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大により、緊急事態宣言が発令され、青森県内でも緊急対策として感染拡大予防措置が行われたところですが、9月末でその措置が解除され年末までは、感染者数も減少し落ち着きが見えはじめたのかと思えたところでした。しかし、年末年始の人の流れの増加と新変異株の感染拡大により、感染者が急拡大している状況であり、3回目のワクチン接種が始まってきていますが、まだまだ予断を許さない状況にあるのではないかと思います。

さて、社会福祉政策においては、国や県が進める「地域共生社会」の実現において、各種福祉制度はもとより分野を超えた制度の連携のもと、市町村単位での包括的な支援体制の整備が進められています。

その中で、社会福祉協議会は、これまでの実践を活かした地域福祉推進の中核的団体としての役割を明確にし、住民が安心して生活できる地域社会の実現に向けて、事業の推進に取り組むことが求められています。

令和2年は、五年に一度の国勢調査の年でしたが、前回と比べてどのような状況になるのでしょうか。深浦町・岩崎村合併当時、一万

一千人を超えていた人口は、現在七千五百人余となっています。高齢化率も三十三パーセントから、約五十パーセントと県内でもトップクラスの高齢化率となっております。実に二人に一人が、高齢者という状況にあります。特に少子化が著しく、将来における各分野における産業の担い手不足は、深刻な問題となってくるものと思われまます。

このような状況だからこそ、住民一人一人が健康であることが大切であり、住民一人ひとりが、自分たちの町は自分たちの手で作り上げていこうという、助け合い、支えあう、町づくりを進めていくことが重要であります。

深浦町社会福祉協議会では、一昨年4月、町から新たに、生活困窮者の一時相談窓口業務の委託を受けたほか、これまでつがる市社協が基幹的役割を担ってきた、日常生活自立支援事業も深浦町単独で実施しているところです。

また、現在進行中の第二次地域福祉活動計画が令和4年度で最終年度を迎えるにあたり、住民意識調査を実施し、現在結果を集計しているところです。皆様からいただいた意見や、住民課題結果をこれからの活動に的確に反映できるよう、これまで実施してきた様々な事業を含め、今後も福祉サービスの充実を図り、住民の皆様のニーズに即した事業の取り組みをしていきたいと考えております。どうか皆様の更なるご支援、ご協力を切にお願いするものであります。

なお、本年度の赤い羽根共同募金運動ですが、皆様方の温かいご理解とご協力により目標額を大きく上回る実績を得ることができましたことに対し、重ねてお礼申し上げます。

終わりに、新型コロナウイルス感染症の終息と、地域の皆様のご健康を御祈念申し上げ、念頭にあたっての挨拶といたします。

令和四年一月吉日

新年ふれあい交流会を開催

1月8日(土) 深浦町フィットネスプラザゆとりにおいて、「深浦町心の福祉会」を中心に、町内の障がい者の交流会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症予防対策をしながらの短い時間ではありましたが、輪投げ、ポッチャやスカットボール等で体を動かし笑いながら楽しいひと時を過ごしました。



パラリンピックで注目「ポッチャ」を体験

めんずらすな〜!  
いきいき交流会を開催〜

昨年は中止となった一人暮らし高齢者を対象とした交流会を、12月21日、規模を縮小して感染対策に配慮しながら開催しました。

アトラクションには、美照流あけぼの会、式部の会、岩谷勇御一行にご協力いただき参加者を楽しませていただきました。一年半ぶりに顔を合わせた参加者の喜びの声が聞こえていました。



岩谷勇さんの民謡ショー

# 「日常生活自立支援事業」 ～あっぷるハート～

「日常生活自立支援事業」とは、自分一人で契約などの判断することが不安な方やお金の管理に困っている方に、福祉サービスの利用手続きの援助や代行、それに伴う日常的な金銭管理等のサービスを提供する事業で、これまでつがる市社会福祉協議会が窓口となっていたものが、令和2年4月から深浦町社会福祉協議会が窓口となり相談を受けることが可能になりました。

- 福祉サービスの内容や利用手続きの方法がわからない
  - 計画的にお金を使いたいけどいつも迷ってしまう
  - 最近物忘れが多く預金通帳やハンコをなくしてしまう
- 等でお困りの方がいらっしゃいましたら、ご相談ください。

○利用料金

- ・相談から契約の締結までの情報提供や助言・・・無料
- ・福祉サービスの利用の援助や、必要な日常的な金銭管理サービスを伴う利用料・・・1,500円

※生活保護受給者は無料です。

◆相談・お問い合わせ◆ 深浦町社会福祉協議会 ☎74-3111



アンケート調査のご協力  
ありがとうございました

昨年12月に、町内の事業所、団体、児童生徒の保護者、個人へ「令和3年度深浦町町民福祉調査アンケート」を依頼いたしました。

今回行ったアンケート調査は、深浦町社会福祉協議会で策定する「第3次地域福祉活動計画」（令和5年度から5か年間の計画）の基礎資料とするもので、深浦町に住む方々の、地域や福祉に関する意識や要望等を把握するため深浦町に住む約千人を対象に実施しました。  
ご協力いただきました方々に感謝申し上げますとともに、調査結果がまとまり次第ご紹介いたします。



シルバーバンク事業  
会員募集

シルバーバンクは生きがいを求め、仕事を通じて社会参加しようとする高齢者の方々に對して、臨時的かつ短期的な仕事を提供することを目的とする事業です。実施された仕事の内容と仕事量に同じ配分金が支払われます。

現在、シルバーバンク会員29名在籍していますが、年々高齢化している現状で活動できる会員が限られています。

概ね55歳以上で、働く意欲のある方ならどなたでも登録できますので、自分の資格や能力を活かし、広く住民の役に立ちたいという方は、社協事務局までご連絡ください。

主な仕事内容は、除雪、除草、軽作業等になります。

※一定の就業日数や収入が保証されるわけではありません。



深浦町認知症カフェ運営事業

ゆとりカフェ



認知症の人とその家族、地域住民、専門職の誰もが気軽に集える場所。おしゃべりしたり、お茶やお菓子でホッと一息しませんか？ 認知症などに関する専門スタッフに気軽に相談できます。詳しくは（ゆとりに置いてある）チラシをご覧になるか、社会福祉協議会までお問い合わせください。

◆開催日時

月1回 月末の火曜日

13時～15時

◆会場

深浦町フィットネスプラザ

「ゆとり」

◆参加費

無料

◆申込

不要

※マスクを着用ください。

※新型コロナウイルス感染状況により、中止する場合もありますのでご了承ください。

今後の予定

- 2月22日(火)
- 3月29日(火)
- 4月26日(火)
- 5月31日(火)
- 6月28日(火)
- 7月26日(火)



## 善意の窓

- グラウンドゴルフ協会チャリティ大会  
参加者一同 15,000円
- 深浦町商工会女性部 20,000円
- 堀内正人(岩崎中) 100,000円

(令和3年11月17日～令和4年1月21日)

ご芳志、誠にありがとうございました。皆様方からいただいた寄附金は、町社協事業や運営のために、幅広く有効に利用させていただいています。



令和3年度赤い羽根共同募金運動を昨年10月から実施してきましたが、皆様のご協力により、目標額を達成することができました。誠にありがとうございます。今後も赤い羽根共同募金運動への温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。お礼といたします。

ありがとうございます！  
共同募金実績報告

### 令和3年度 共同募金実績報告

○一般募金額	1,339,870円
○街頭募金額	26,594円
○学校募金額	59,301円
○職域募金額	0円
○その他	299,381円
計	1,725,146円
《目標	1,650,000円》

(令和4年1月21日現在)

## お知らせ

深浦町フィットネスプラザ「ゆとり」

入浴券特別割引販売  
について

通常価格

大人12回券 4,000円



割引  
価格 3,500円

販売期間：令和4年2月8日(火)  
～2月22日(火)

※お一人様3組までとなります。  
※その他の回数券は割引対象となりません。  
※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては期間を変更する場合があります。



社会福祉法人 深浦町社会福祉協議会

〒038-2324

深浦町大字深浦字中沢34-1

深浦町フィットネスプラザ「ゆとり」内

TEL 0173-74-3111

FAX 0173-74-4488

URL: <http://www.fukaura-shakyo.com>

E-mail: [fukasha@fukaura-shakyo.com](mailto:fukasha@fukaura-shakyo.com)